



第4回定例会 (令和7年12月5日から12月22日まで)

第4回定例会(12月定例会)は、令和7年12月5日に開会され、会期を12月22日までの18日間と決定し、全議案議了した後、19日に閉会しました。

議長に高岡 洋 議員、副議長に宇城 公子 議員が選出

初日に、新たに議長に高岡 洋議員、副議長に宇城 公子議員が選出されました。また、各常任委員会委員及び議会運営委員会委員が選出され、それぞれの委員会で委員長、副委員長が互選されました。その後、紀南介護保険広域連合議会議員、紀南環境衛生施設事務組合議会議員、紀南病院組合議会議員、東紀州環境施設組合議会議員が選出されました。9日には、諮問2件、専決処分1件、人事案件3件、工事請負契約の変更1件を審議し、同意、可決しました。その後、16議案を一括上程し、各常任委員会へ付託しました。

19日には2件の発議があり、各常任委員長の報告の後、条例制定2件、条例改正8件、補正予算6件、追加議案として人事案件1件、議決案件1件など20件を審議し、同意、可決しました。

一般質問では8人の議員が通告に基づき、それぞれが町政に対する質問、提言を行いました。

議会の構成 (令和7年12月5日選出)

議長 たかおか ひろし
高岡 洋



副議長 うしろ きみこ
宇城 公子



委員会名	委員長	副委員長	委員		
総務産業常任委員会	野地本 隆	端地 常浩	山本 章彦	南 州計	松本 有希
教育民生常任委員会	池上 勝生	磯崎 薫子	高岡 洋	宇城 公子	安田 圭太郎
議会運営委員会	南 州計	磯崎 薫子	野地本 隆	池上 勝生	-

議員任期 令和7年12月2日～令和11年12月1日

選挙

- 紀南介護保険広域連合議会議員の選挙
・・・宇城 公子議員、野地本 隆議員、南 州計議員を選出
- 紀南環境衛生施設事務組合議会議員の選挙
・・・端地 常浩議員、山本 章彦議員を選出
- 紀南病院組合議会議員の選挙
・・・磯崎 薫子議員、池上 勝生議員、松本 有希議員を選出
- 東紀州環境施設組合議会議員の選挙
・・・南 州計議員、安田 圭太郎議員を選出

諮問

- 人権擁護委員候補者の推薦
・・・南 慶造氏（志原）を適任と答申
- 人権擁護委員候補者の推薦
・・・阪口 典久氏（下市木）を適任と答申

議案

- 専決処分（令和7年度御浜町一般会計補正予算第4号）・・・承認
△歳入歳出予算の総額70億4,619万3千円
- 御浜町監査委員の選任
・・・中村 正男氏（下市木）の選任に同意
- 御浜町教育委員会の委員の選任
・・・南 慶造氏（志原）の選任に同意
- 御浜町教育委員会の委員の選任
・・・服部 扶美佳氏（下市木）の選任に同意
- 工事請負契約の変更・・・可決
△中央公民館改修追加工事
- 御浜町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正・・・可決
- 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正・・・可決
- 御浜町長及び副町長の給料及び旅費等に関する条例の一部改正・・・修正案可決
- 御浜町教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正・・・可決
- 御浜町職員の給与に関する条例の一部改正・・・可決
- 現業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正・・・可決

- 御浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正・・・可決
- 御浜町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定・・・可決
- 児童福祉法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定・・・可決
- 御浜町水道事業給水条例の一部改正・・・可決
- 指定管理者の指定について・・・可決
△御浜町福祉健康センターの指定管理者として、社会福祉法人御浜町社会福祉協議会を指定
- 令和7年度御浜町一般会計補正予算（第5号）・・・可決
△歳入歳出予算の総額71億8,845万8千円
- 令和7年度御浜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）・・・可決
△歳入歳出予算の総額12億3,998万円
- 令和7年度御浜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）・・・可決
△歳入歳出予算の総額3億1,456万1千円
- 令和7年度御浜町水道事業会計補正予算（第2号）・・・可決
△収益的支出の予算額2億1,716万1千円
- 令和7年度御浜町下水道事業会計補正予算（第2号）・・・可決
△収益的支出の予算額1億8,276万8千円
- 御浜町監査委員の選任
・・・池上 勝生氏（下市木）の選任に同意
- 令和7年度御浜町一般会計補正予算（第6号）・・・可決
△歳入歳出予算の総額72億1,071万6千円

その他の活動

議会だより特別委員会

令和7年10月23日

協議事項

1. 議会だより第130号について

議会運営委員会

令和7年12月5日

協議事項

1. 第4回定例会について

- ①定例会等の日程及び上程議案の審議日程等の協議

全員協議会

令和7年12月5日

協議事項

- ①新タクシー料金助成事業に係る協議について

説明事項

- ①町長、副町長及び教育長の給料並びに議会議員の報酬の改正について
- ②令和7年人事院勧告に伴う給与条例等の改正点について
- ③委員会の委員等の報酬の改正について
- ④御浜町地域経済循環創造事業補助金の創設について
- ⑤御浜町福祉健康センターに係る指定管理者の指定について
- ⑥御浜町乳児等通園支援事業「こども誰でも通園制度」について
- ⑦児童福祉法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- ⑧御浜町認定こども園（給食業務）及び給食センター業務の一部民間委託について
- ⑨水道料金の改定案について
- ⑩中央公民館改修追加工事について

報告事項

- ①御浜町消防団市木分団1班消防車庫工事の状況について
- ②物価高騰対応重点支援給付金「令和7年度定額減税補足給付金（不足額給付）」について
- ③踏切改良計画事業一本松踏切撤去工事に係る繰越明許費について
- ④新校舎建設全庁的プロジェクトの進捗状況について

その他

- ①物価高対応子育て応援手当について

総務産業常任委員会

令和7年12月11日

審査事項

1. 付託された8件の議案の審査

担当課から補足説明を受けた後、質疑、修正動議を行い、審査の最後に討論・採決を行いました。

教育民生常任委員会

令和7年12月12日

審査事項

1. 付託された9件の議案の審査

担当課から補足説明を受けた後、質疑を行い、審査の最後に討論・採決を行いました。

御浜町地域活性化調査研究特別委員会を設置

令和7年12月19日の議会において発議があり、地域の活性化を目的に、様々な調査研究を行いその対策を検討するため、御浜町地域活性化調査研究特別委員会を設置しました。

委員長に山本 章彦議員、副委員長に松本有希議員を含めた全議員で選出されました。1月13日に特別委員会を開催し、毎年、開催している「地域のみなさんと議会との懇談会」について話し合いました。

議会だより特別委員会を設置

令和7年12月19日の議会において発議があり、掲載する議会の内容をより充実したものを発行するため、議会だより特別委員会を設置しました。

委員長に宇城 公子議員、副委員長に安田圭太郎議員、委員に山本 章彦議員、池上 勝生議員が選出されました。1月30日に議会だより特別委員会を開催し、12月議会の内容を中心に掲載する内容及び編集作業を行いました。



議長・副議長が新たに選出されました。

就任の挨拶



議長 たかおか 高岡 ひろし 洋

令和7年12月議会において、議長に就任いたしました。本町には、世界遺産熊野古道七里御浜や「年中みかんのとれるまち」として柑橘類などが豊富で、全国に誇れる資源があり、多くの方に親しまれています。その一方で、大型事業による財政状況の悪化、紀南病院の赤字や人口減少、高齢化や若い世代の町外流失といった、将来を見据えた課題にも直面しています。

このような状況下において議会が果たすべき役割はますます重要になってきております。私は、町民の皆様の声に真摯に耳を傾け、誰もが安心して暮らすことができ、そして未来への責任として、誰もが希望を持てるような町づくりのために、誠実に議長の職を務めてまいりたいと存じます。

町民の皆様にとって、開かれ、信頼される議会を目指し、「対話と協力」の姿勢を大切にします。これからも、町民目線で、町民が主役を信条として町づくりに取り組む事を申し上げ、議長就任のあいさつとさせていただきます。



副議長 うしろ 宇城 きみこ 公子

今定例会におきまして、議員の皆様のご推挙により副議長の要職を担うこととなり、責任の重みを感じ、身の引き締まる思いでございます。これまでの議員経験を活かし、議長を補佐し、公平公正さに重きを置き、町民の皆様にとって、より良い議会、加えてより身近で開かれた議会を目指し、頑張っ
てまいりたいと存じます。

今後とも、これまで以上に皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。副議長就任のあいさつとさせていただきます。

ここを問いたい（一般質問）

やすだ けいたろう
① 安田 圭太郎 議員 …………… P 7

- ・観光アンケート結果の戦略化について
- ・ビジョン統一と総合計画への統合について
- ・「POD（差別化）」構築について
- ・Kii Card 成果の活用について
- ・民間施策の公式統合について
- ・予算配分と戦略的主体性について
- ・町民への可視化と情報発信について



たかおか ひろし
② 高岡 洋 議員 …………… P 8

- ・町長の政治姿勢（部下に対しパワーハラスメント行為で、健康福祉課の女性職員を懲戒処分したことについて 柑橘振興、観光振興による御浜町の将来像について）



やまもと あきひこ
③ 山本 章彦 議員 …………… P 9

- ・改めて問う御浜町活性化のための定住人口・交流人口・関係人口拡大の施策
- ・住民の暮らしを守る物価高騰対応施策
- ・御浜町防災対策の強化



みなみ くにかず
④ 南 州計 議員 …………… P 10

- ・令和8年度予算編成について
- ・志原川、太田川流域の安全確保について



いけがみ かつみ
⑤ 池上 勝生 議員 …………… P 11

- ・現高市政権が掲げる物価高騰対策を推進する上での本町の対応について
- ・猟銃免許取得者への支援・獣害対策（クマ等）の強化について
- ・紀州犬の価値向上にむけた行政の姿勢について
- ・「風伝おろし」を活かした観光振興について



いそぎ き かがり こ
6 磯崎 薫子 議員 …………… P 12

- ・水道料金の値上げについて
- ・学校のアレルギー対策について
- ・「こども誰でも通園制度」について



まつもと なおき
7 松本 有希 議員 …………… P 13

- ・カンキツ振興の観点からミカン祭りの再開について



のじもと たかし
8 野地本 隆 議員 …………… P 14

- ・災害対策について
- ・物価高騰による町民への影響と支援について
- ・御浜町観光資源について



一般質問に関する記事は、質問した議員本人が作成しています！

※各ページ議員顔写真下の二次元コードを読み取ることで、各議員の一般質問の動画を視聴することができます。



二次元コード（見本）

※インターネットやスマートフォンによる視聴は、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金請求がくる場合がありますので、特にご注意ください。

<一般質問とは>

議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等についての所信を聞き、報告や説明を求め疑問点を質す、大事な議員活動の場のことです。議員からの事前の通告に基づいて行われ、特定の議案の審議に際して行われる質疑とは異なり、行財政全般、住民生活に関わる地域の課題や展望など幅広いテーマで行われるものです。

一般質問

「何を目指す町か」が見えない

「戦略の甘さを正し、データと民間活力を認識、統合すべき」

民間データの戦略的活用

「数値を計画へ接続」

質問

観光アンケート（492人分）やKiinCardの分析結果（保有者の消費額は1.75倍等）といった優秀なデータがあるが、これらが町の施策に十分に反映されていないのではないのか。

今後は単なる「参考資料」で終わらせず、具体的な施策や計画へどう接続させるのか。

答弁

今回のアンケートは当初、現状共有が目的であり直接的な判断材料ではなかったが、結果として十分に活かされていない点は認識している。今後は町と関係者で合意の下、データ共有を続け、目的と目標を定めた調査を行い施策へ活かせるよう努めたい。

要望

参考資料だから活用しないのではなく、始まったものをどう計画側に接続し、有用なデータへブラッシュアップしていくか。その整理とプロセスについて、次回一歩進んだ報告を期待する。

ビジョンと役割の整理

「町民に伝わる」

「見取り図」を

質問

町には「年中みかんとれるまち」「一人ひとりが満たされる町」「青を編む」など複数のビジョンが並立しており、町民や事業者からは「結局どこへ向かうのか」が見えにくい。

統合が難しいとしても、これらがどういう関係にあるのか、町民に分かりやすく整理・図式化して提示すべきだ。

答弁

各組織には設立目的や役割があり、完全に一つの言葉に統合することは難しい側面もある。しかし、町民にとって分かりにくいという点は理解できる。それぞれのビジョンがどう関係し合っているのかを整理し、町民の皆様に分かりやすく示せるよう検討したい。

要望

統合を求めるだけでなく、関係性を可視化するという「宿題」として、今後の報告を待ちたい。



安田 圭太郎 議員

成果の可視化と共有

「わかりやすさを

追求して」

質問

「ツーリズムみはま」等との官民連携や委託関係の枠組み、予算の根拠が町民には見えづらい。どこからが町の責任で、どこまでが民間の裁量なのか。町民は株主のような存在である。町民が納得できるように、枠組みや成果を可視化し、定期的に発信する仕組みを作るべきではないか。

答弁

行政と民間の関わりは分かりにくい部分がある。「あれは町の仕事か民間の仕事か」と言われないよう、予算のつけ方も含め、

一般質問



マテリアル



要望

分かりやすい情報発信に努めたい。情報発信の手法は工夫し、今後どう発信するのが効果的か研究していく。

私は移住者だが、移住検討時は行政の情報を深く調べる。その際、情報が整理され「分かりやすい」ことは町の選定に直結する。引き続き追求していただきたい。

一般質問

女性職員が部下にパワハラ懲戒処分！ 「観光事業」何度きいても成果なし！

パワハラは行政組織にとつて重大なリスク
「職員の心身不調」「業務への支障」「住民サービスへの質の低下」役場組織の信頼失墜であり、絶対に許されない行爲です。

質問 役場健康福祉課で上司から部下に対してパワハラが露呈し、非常に残念。人権が尊重される当たり前の時代に役場内でパワハラが起こったことに対する町長の見解は？

答弁 このような事案が発生し、住民の皆様の信頼を裏切ることになり深く反省しております。

質問 御浜町役場においてここ1年間でのメンタル

不調による休職、退職者を教えてください？

答弁 職員の個別案件になるため、回答は差し控えてさせていただきます。

質問 令和2年からの3年間で保育所においては20人が退職しているが、この状況を見て何も思いませんか？

答弁 職員が休職や離職するのはそれぞれ個人の事情でございます。



観光事業に取り組んで7年、事業費6年間で4億円投入。もう無駄な税金は使わないで

質問 マリオットホテルができて町内の宿泊者数が10倍になったということですが、御浜町への経済効果を教えてください。

答弁 宿泊費が御浜町のホテルに落ちるといふことです。御浜町にあるホテルの収入なので、一定の経済効果があると考えております。

意見 全く意味不明の答弁。宿泊人数が増えただけで、御浜町の経済は潤わないでしょう。

ホテルの収入は、ホテルの収入で、御浜町の収入で

はありません。また、宿泊者の消費動向も調査していません。経済効果は把握



高岡 洋 議員



一般質問

御浜町活性化のための施策・暮らしを守る物価高騰対策・防災対策の強化

活性化のための定住人口・交流人口・関係人口拡大施策を問う

質問 地方活性化の三大柱と言われる3つの人口拡大施策について、「定住人口の拡大」では、①子育て支援策の充実として、学校給食・保育料無償化の継続と、この地域唯一である0歳児からの無償化をしつかりと広報すること ②空き家バンク登録数をもっと増やすための施策 ③10年間で100人という新規就農者の目標値を達成するために、農地や倉庫の確保等支援の充実を図ること ④人口減少で水道使用量が減少しているのが料金値上げの原因になっていることに関連して、みかん畑の灌水に町水道を利用できるように補

助をおこなうことを意見・提案。

「交流人口の拡大」では、①町民の皆さんに町への愛着と誇りを感じていただけるみかん祭りの再開 ②大きな観光地のない御浜町において、御浜ならではの風伝おろしや紀州犬、地域住民の方が取り組まれているアサギマダラの里や秋桜畑等、SNS映えするスポット整備に町が積極的に関わること ③自転車地域内をめぐる紀南シーサイドヴェロフェスタを参考にさせていただき、「サイクリング」に観点を置いた観光施策に取り組む事を意見・提案。

「関係人口の拡大」では、町内のみかん農家有志が取り組まれている「みかん収穫ワーケーション」を取り

上げ、都市部から社会人や大学生等述べ270名の方が御浜町に来てくれて、収穫の手伝いをしながら、地域内の飲食店での食事や買い物、宿泊をして、繁忙期農家の人手不足や地域経済活性化に寄与していただいているとして、この取り組みへの町の協力を意見・提案しました。

答弁 町長からは、昨年の移住者は新規就農者を含め30世帯64人。研修生や親元就農など3年間で32名が柑橘栽培に携わっている等の実績が報告され、祭りについては、主体的に実施してくれる人があれば支援したい。との答弁。

担当課からは、宿泊消費額が年間1億4,800万円あったが、飲食等の消費

額は把握できていないこと。新規就農者10年100人実現にしっかりと取り組むこと。町水道を畑に利用する補助を検討すること等が答弁されました。

水道料金値上に対する減免措置の考えを問う

質問 物価高騰が住民生活、特に年金生活者、子育て世帯の家計を直撃する状況下、水道料金を30%も値上げする議案を提出するのであれば、同時に物価高騰対応交付金を活用した減免措置等を具体的に示すべきであることを意見。

答弁 物価高騰対応交付金を活用し、水道料金改定による影響の緩和策の検討

はするが、現時点で示せない。(この答弁を受け、水道料金値上げの議案に反対討論をおこないました。)

防災対策の強化を問う

質問 災害発生時、特に山間部において孤立集落が発生することを想定し、分散備蓄を強化すること。避難所運営において女性の視点が重要であるとして、女性防災リーダーの育成に力を入れること。自らの災害ボランティアの経験から、被災地で肌で感じる大切として、自主防りダーの被災地視察研修や町が災害ボランティアを募り派遣することを提案。執行部より前向きな検討の答弁を受けました。



山本 章彦 議員



一般質問

令和8年度事業実現のための予算編成の 考え方と志原川、太田川流域の安全確保 を問う

令和8年度予算編成について

質問 第6次総合計画重点プロジェクト事業実現のための予算編成の考え方は。

答弁 人口減少を見据えた事業規模とコストの適正化、DXを活用した事務事業の効率化、組織機構の見直しなどに取り組み、今後厳しさを増すことが想定される財政状況においても、持続可能な行財政運営を確立してまいります。

①人口減少対策

Q 結婚につながる事業や出産支援への予算計上の考え方は。

A 県内29市町で構成されている「みえ結婚支援プロジェクトチーム」と連動した施策が中心で、令和8年度には熊野市、紀宝町と合同のマッチン

グイイベントを御浜町内で開催予定であります。

②物価高騰対策

Q 重点支援地方交付金を活用した商品券の給付の可能性は。

A 商品券も一つの方法であると認識しており、新年度あるいはその前から取り組みができるよう検討してまいります。

③ハード事業整備計画

Q 現在、阿田和保育園建設や中央公民館の大規模改修、統一小中学校の整備、町道紀南病院線など大きな予算が投入されている中、令和8年度の新規事業計画は。

A 保育所建設と学校用地取得、紀南病院線の改良工事・用地交渉が柱となる予定です。

④紀南病院の経営対策

Q 令和8年度予算における町の支援の概要は。

A 現在、営業部経営部門の専門家への委託を行い、助言、指導を受けています。各市町は応援するけど、紀南病院の努力で経営改善できないか検討しています。今後、国、県への財政支援の要請も行ってまいります。

⑤農業振興

Q スマート農業の導入と地域計画の取り組みは。

A スマート農業導入については、専門性のある県などに働きかけていきます。地域計画については、荒廃地化を防ぐためにも新規就農者の確保に努めます。

⑥獣害対策

Q 獣害駆除補助金を国庫補助に加え、県補助を抛出している和歌山県と同額となるよう三重県への対応は。

A 今後とも国、県へ要



南 州計 議員

望してまいります。特に県の方へ強く要望していきます。



志原川河口の樋門

志原川、太田川流域の安全確保について

質問 河川改修の現状と今後の計画は。

答弁 平成27年11月に二級河川志原川水系河川整備計画が県で作成しておりますが、今は産田川での改修

のみで、志原川では実施されていません。また、太田川においては、改修計画の予定はありません。

Q 太田川の改修の可能性は。

A 志原川の改修を優先し、その工事の進捗状況をみながら太田川の改修を検討してまいります。

質問 志原川河口の樋門の改修計画は。

答弁 現状、県において事業化に向けて協議している段階で、早期着手のために強く要望してまいります。

Q 事業着手に至らない要因は。

A 県内の他の河川の大規模事業とのバランスと産田川の整備が一定規模完成した後に着手時期の検討が必要であるとの県の回答でありました。



一般質問

○ 物価高騰対策は！
○ 獣害対策は！
○ 紀州犬の保護・育成は！
○ 風伝おろしを活かした観光振興は！

一 現高市政権が掲げる物価高騰対策を推進する上での本町の対応について

【質問】 (一) 高市政権の経済政策についてどのように評価していますか

【答弁】 物価高騰への対応や経済の成長投資、防衛や外交の強化といった3つの柱が示されており、こうした国の動きを注視しながら、必要な対策を進めます。

【質問】 (二) 同政権が拡充した「重点支援地方交付金」についてどのように考えていますか

【答弁】 物価高騰に苦しむ町民の皆様への支援を最優先に、その具体策を検討している段階です。

【質問】 (三) 同政権は、責任ある積

極財政を掲げています。来年度予算については、どの分野に重点を置く予定ですか

【答弁】 人口減少を見据えた事業規模とコストの適正化、DXを活用した事務事業の効率化、効果的で効率的な行政サービス提供のための組織機構の見直しなどに取り組みます。

【要望】 ○ 国から物価高騰対策として約一億六千万円が交付されたところですが、使い道として公平性、人的・諸経費が掛からない水道基本料金の一律減免を要望します。

○ 現政権は危機管理投資、成長投資を掲げていることから、学校統合により、廃校となる五つの小中学校の跡地利用の活用、補助金等が適用できないか、早急に取り

組むことを要望します。

二 獣害対策について

【質問】 (一) 今年度の鹿・猿・猪等の被害状況をどのように把握していますか

【答弁】 猿や猪による柑橘の被害、猪による園地の掘起こし、鹿による柑橘の若木の被害などの報告を受けています。

【質問】 (二) 今年、関心の高まりから、狩猟免許取得者が大幅に増加しています。同免許取得者が活動しやすい環境整備について、町としてどのように対応するのですか

【答弁】 集落支援員制度を使って、各地域に支援員が配置できないか、担当課で検討しています。

【質問】 (三) ICT(カメラ、AI、スマートラップ)や電気柵、モバイル柵など中長期的な対策はどのように考えていますか

【答弁】 現在、4基のICT大型捕獲おりを稼働しており、今後、くくりわなや箱

わなでも活用ができないか検討をしています。

三 紀州犬の価値向上にむけた行政の姿勢について

【質問】 (一) 紀州犬の文化的価値・歴史的価値をどのように認識していますか

【答弁】 紀州犬はその歴史が長く、日本の文化や伝統に深く関わっている犬種であると認識しています。

【質問】 (二) 老朽化した「紀州犬のふるさと看板」修繕の検討状況は

【答弁】 できる限り早期に修繕をしたいと考えています。

【要望】 紀州犬は文化財保護法に基づき国の天然記念物に指定されている。国だけでなく地方公共団



池上 勝生 議員

体にも保存等の責務があることから、取り組みの強化を要望します。

四 「風伝おろし」を活かした観光振興について

【質問】 (一) 「風伝おろし」を本町の観光資源としてどのように捉えていますか

【答弁】 全国的にも珍しい自然現象であり、観光的にも大きな価値があると認識しています。

【要望】 本町では、熱心な地元住民やプロモーションサイト「青を編む」の活用などで情報発信していますが、特に、町外の方にも更に広く「風伝おろし」を知ってもらうため、観賞場所を記した看板や椅子、ベンチ席などの設置を要望します。



生活守る政策なしに 水道料金3割値上げ反対

水道代4月から値上げ？町民のくらしはどうする

くらしを守る視点を

質問 物価高騰のなかで水道代を4月以降十年にわたり3割値上げする計画というが、あらゆる生活必需品が値上がりするなかでの値上げは町民、とりわけ高齢者世帯、子育て世帯、小規模業者などに大きな負担。人口減の推計のなかで値上げが避けられない部分があることは否定しないが、町民生活への深刻な影響をどうすれば緩和できるかを真摯に検討しないままの大幅値上げは認められない。大幅値上げの根拠は。またなぜこの時期なのか。

答弁 施設の老朽化や更新費の増加、人口減少によ

る料金収入の減少、物価上昇による維持管理費の増加等により、数年後には運転資金が枯渇する見込みで、令和8年4月からの料金改定を提案した。水道事業の経営費用は水道利用者が料金として負担する独立採算制。より多くの現金預金を確保して今後の設備更新に備える。負担軽減は物価高騰に苦しむ生活者支援に重点を置くよう指示を出し、具体策を検討している段階。

質問 値上げ後、子どもを含む三人世帯で一か月6600円との試算があった。浄化槽清掃も2割値上げなので水まわりだけでもひと月に一万数千円の負担になる世帯がさらにでることとは明らか。どんな世帯にどんな影響が出るか、所得

状況の分析など、福祉とも連携して考察すべきだ。影響について試算は行ったか。

答弁 世帯人数別での試算を行い検討したが、他部署との綿密な協議は行っていない

質問 負担軽減の検討を禁じる規定があるのか。

答弁 (減免を禁ずる)規定はない。

過去に一般会計から2億5千万円の貸付を受けており、その返済をどうするかが検討の課題となり、今回の3割値上げの原因にひとつになっている。

質問 値上げの計画についての説明も、10%ずつ3年や、5%ずつ6年など選択肢を増やし検討、タウンミーティングなどで町民に直接説明すべきだ。

答弁 水道会計をしつかり守っていくという大原則がある。十分時間をかけて説明はしてきている。



いそざき 薫子 議員

要望 守り抜くべきは町民生活で、そのための水道会計では。水がなくては生きていけない。水道会計を独立採算制でなく、町が主体で運営する一般会計に戻せと国に対して粘り強く交渉すべき。

人権としてのアレルギー対応徹底を

質問 食物アレルギーのある児童生徒が差別や排除されず安心して学校生活を送れる制度は当町でも一定の構築を見ているはず。しかしある学校では行事でPTAが食事提供する際、保護者役員から提案された食品原材料掲示によるアレルギー対応を、学校側が「行わない」と拒否。学校運営協議会でも当該保護者役員のアレルギー対応の提案を

問題視する役員らの発言を、学校側が黙認するなどした。国の指針では、アレルギー対応は組織で行い、校長を委員長とする「アレルギー対応委員会」を最低でも一年に一回は開催。アレルギーの基礎知識や必要事項を共有する。行事食にも学校として配慮すべきと記載されている。教育長の考えは。

答弁 少なくとも法で義務付けられた小麦や卵など主要8品目の提示は必要であったといわざるを得ない。今後は町内すべての小中学校に対してボランティア主体の実施でも食物提供が行われる場合には特定原材料が含まれるか掲示するなど食物アレルギー対応やその趣旨を丁寧に指導することとした。



みかん祭りの復活を望む！

なぜ、町民の大多数が期待している地域振興としての「みかん祭り」を開催してもらえないのか疑問に思う。

質問 みかん祭りのような大規模なイベントを開催することで、人と人の繋がりや、地域の結びつきが生まれ地域が活性化されるのではないですか。また、子ども達が大人になった時に思い出してもらえないのではないですか。

答弁 平成20年から令和元年まで実施していたみかん祭りが令和2年以降はコロナ禍など諸般の事情もあり、中断しています。柑橘振興の観点でのみかん祭りについては開催する予定はございません。

質問 御浜町の活性化はみかんの産地として発展することだと思えます。町民もみかん祭りやイベントを楽しみにしています。みかん祭りが出来ないことが寂しく思います。できない理由を教えてください。

答弁 祭りは祭りを仕組む側あるいは、お客さん側双方が楽しいと思えることが一番です。今まで、仕組む側が大変ご苦労の中、実行して頂いておりました。そして、苦情も沢山頂いております。決して、祭りを否定しているわけではありません。



過去のみかん祭りの様子



松本 有希 議員

質問 過去の一般質問の議事録を見て、町長は、思いをもった人が出てきて欲しいとの答弁を確認しました。裏方ですが、私が実行委員会を立ち上げて一緒に進めていこうと思います。どうですか町長。

答弁 ありがとうございます。始まる前にじっくり議論した上で、みんなが納得した形での実行をお願いします。

意見 いい答えをいただきましたので、私の想いを語って最後にします。町民の心を一つにし、町が元気になる大イベントが必要だと思えます。成功させるよう、全力で頑張って進めていきますので、宜しくお願いします。



防災対策について

防災対策について

質問 老朽化した水道管や道路、河川などのインフラ整備について、災害に備えた点検や補修など進んでいるのか。

答弁 水道管の点検については、業務委託による漏水調査を通じて点検、職員による水管橋や添架橋の目視点検、水道管の補修については漏水箇所の発見時、随時修理と漏水多発地区等の配水管の更新を必要に応じて取り換え修繕を行っている。

質問 土砂災害警戒区域や崩壊の危険がある場所などへの対策状況を教えてください。

答弁 町内の土砂災害警戒区域に指定されている箇所は376箇所あり主に山間部。県の事業で引作地区の急傾斜地崩壊対策事業を、神木地区の砂防堰堤の整備事業などの対策工事を行っている。命を守る行動をとるため、御浜町洪水土砂災害ハザードマップで危険箇所をお知らせしている。

質問 災害時の避難行動要支援者への取り組みや課題について、高齢者や障がい者など災害時に特別な配慮が必要な方々への支援体制はどの様になっているのか。

答弁 本当に必要な方のみ掲載された生きた名簿作りに取り組んでいる。65あ

る自主防災組織のうち、23地区で生きた名簿が完成、5地区は精査し不要となった地区、これからも自主防災組織と支援員が連携し、今後も更新していく。

物価高騰によりよる町民への影響と支援について

質問 重点支援地方交付金の今後の見通しについて町民への支援としてどの様に考えているのか。

重点支援地方交付金に関する予算について、住民の暮らしを守る公平な税金の使い方として、どの様な施策を考えているのか。

答弁 生活支援に重点、具



野地本 隆 議員

体策を検討中。方針としては保育料及び小中学校給食の無償化の継続に加え、水道料金改定による影響の緩和策、米などの食料品の物価高騰に対する負担軽減策について、優先的に具体化する。

御浜町観光資源について

質問 御浜町観光資源の開発について、観光による地域の活性化を重点施策の一つにしているが、現状と今後の取り組みについてお聞きします。

答弁 町内外から集客が促進されるよう、商工観光の振興及び観光施設などの

適切な維持管理、整備を図ります。

観光資源の開発について御浜町エリアマネジメント調整会議を踏まえ「ツーリズムみはま」が町内の新しい取り組みとして旅行者を対象に地域資源の商品化、収益化に挑戦し、地域おこし協力隊制度を活用し人的支援も行っている。



議会録画中継をご覧ください

インターネットで議場での議会録画中継が視聴できます。御浜町ホームページトップ画面の 右上「行政情報」をクリックし、下にスクロールすると、次の画面が表示されますので、「議会録画中継」をクリックしてご覧ください。

The screenshot shows the Mihama town website interface. At the top, there is a navigation bar with various categories: '暮らしの情報', '医療・健康・福祉', '子育て・教育', '観光・文化・スポーツ', 'しごと・産業', and '行政情報'. The '行政情報' (Administration Information) category is highlighted with a pink circle. Below this, the '行政情報' section is displayed, featuring a 'ホーム' (Home) sidebar on the right and a main content area. The main content area is divided into several sections: '計画・施策' (Planning and Policy), '御浜町について' (About Mihama Town), '御浜町議会' (Mihama Town Council), '広報・公聴' (Publicity and Hearings), '行財政' (Administration and Finance), and '情報公開' (Information Disclosure). The '御浜町議会' section is highlighted with a pink circle, and a pink arrow points from the '行政情報' menu item down to this section. Within the '御浜町議会' section, the '議会録画中継' (Live Broadcast of Council Meetings) item is circled in pink, and another pink arrow points from it to the '議会だより' (Council Meeting Newsletter) sub-item.

※定例会など本会議の様子は、下記二次元コードを読み込んでいただくことでご覧頂くことも可能です。



※インターネットやスマートフォンによる視聴は、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金請求がくる場合がありますので、特にご注意ください。

議員の一押し写真



朝日が昇り始める七里御浜ふれあいビーチ

(野地本 隆議員提供)

～議会を傍聴してみませんか～

本会議はどなたでも傍聴できます。傍聴席は一般席が18席、車椅子で傍聴できるスペースが2台分あります。傍聴を希望される方は、役場庁舎3階の傍聴受付で、住所・氏名を記入のうえ入場してください。

(車椅子で傍聴を希望される方は、事前に事務局までご連絡ください。)

編集／御浜町議会だより特別委員会

委員長 宇城 公子
副委員長 安田 圭太郎
委員 山本 章彦
委員 池上 勝生

発行／三重県南牟婁郡御浜町議会
発行責任者／高岡 洋

〒519-5292

三重県南牟婁郡御浜町大字阿田和6120番地1

TEL 05979-3-0524 FAX 05979-2-3502

E-mail m-gikai@town.mihama.mie.jp